



ホストとミドルウェアの手順 StorageGRID software

NetApp
December 03, 2025

目次

ホストとミドルウェアの手順	1
Linux: グリッドノードを新しいホストに移行する	1
ソースホストからノードをエクスポート	1
ターゲットホスト上のノードをインポートする	2
移行したノードを起動する	3
VMware: 仮想マシンを自動再起動するように構成する	4

ホストとミドルウェアの手順

Linux: グリッドノードを新しいホストに移行する

グリッドの機能や可用性に影響を与えずにホストのメンテナンスを実行するために、1つ以上のStorageGRIDノードを1つのLinuxホスト(ソースホスト)から別のLinuxホスト(ターゲットホスト)に移行できます。

たとえば、OSのパッチ適用と再起動を実行するためにノードを移行する必要がある場合があります。

開始する前に

- 移行サポートを含めるようにStorageGRIDの展開を計画しました。
 - ["Red Hat Enterprise Linux のノードコンテナ移行要件"](#)
 - ["Ubuntu または Debian のノードコンテナ移行要件"](#)
- ターゲットホストはすでにStorageGRIDの使用に備えて準備されています。
- 共有ストレージは、すべてのノードごとのストレージボリュームに使用されます。
- ネットワークインターフェイスの名前はホスト間で一貫しています。

実稼働環境では、単一のホスト上で複数のストレージノードを実行しないでください。各ストレージノードに専用のホストを使用すると、分離された障害ドメインが提供されます。



管理ノードやゲートウェイノードなどの他のタイプのノードを同じホストにデプロイできません。ただし、同じタイプのノードが複数ある場合(たとえば、ゲートウェイノードが2つ)、すべてのインスタンスを同じホストにインストールしないでください。

ソースホストからノードをエクスポート

最初のステップとして、グリッドノードをシャットダウンし、ソースLinuxホストからエクスポートします。

ソースホストで次のコマンドを実行します。

手順

1. ソースホスト上で現在実行されているすべてのノードのステータスを取得します。

```
sudo storagegrid node status all
```

出力例：

```
Name Config-State Run-State
DC1-ADM1 Configured Running
DC1-ARC1 Configured Running
DC1-GW1 Configured Running
DC1-S1 Configured Running
DC1-S2 Configured Running
DC1-S3 Configured Running
```

2. 移行するノードの名前を特定し、その実行状態が実行中の場合は停止します。

```
sudo storagegrid node stop DC1-S3
```

出力例：

```
Stopping node DC1-S3
Waiting up to 630 seconds for node shutdown
```

3. ソース ホストからノードをエクスポートします。

```
sudo storagegrid node export DC1-S3
```

出力例：

```
Finished exporting node DC1-S3 to /dev/mapper/sgws-dc1-s3-var-local.
Use 'storagegrid node import /dev/mapper/sgws-dc1-s3-var-local' if you
want to import it again.
```

4. メモしてください `import` 出力で提案されたコマンド。

次の手順で、このコマンドをターゲット ホストで実行します。

ターゲットホスト上のノードをインポートする

ソース ホストからノードをエクスポートした後、ターゲット ホストにノードをインポートして検証します。検証により、ノードがソース ホストと同じブロック ストレージおよびネットワーク インターフェイス デバイスにアクセスできることが確認されます。

ターゲット ホスト で次のコマンドを実行します。

手順

1. ターゲット ホストにノードをインポートします。

```
sudo storagegrid node import /dev/mapper/sgws-dc1-s3-var-local
```

出力例：

```
Finished importing node DC1-S3 from /dev/mapper/sgws-dc1-s3-var-local.  
You should run 'storagegrid node validate DC1-S3'
```

2. 新しいホスト上のノード構成を検証します。

```
sudo storagegrid node validate DC1-S3
```

出力例：

```
Confirming existence of node DC1-S3... PASSED  
Checking configuration file /etc/storagegrid/nodes/DC1-S3.conf for node  
DC1-S3... PASSED  
Checking for duplication of unique values... PASSED
```

3. 検証エラーが発生した場合は、移行したノードを起動する前に対処してください。

トラブルシューティング情報については、Linux オペレーティング システムのStorageGRIDインストール手順を参照してください。

- ["Red Hat Enterprise LinuxにStorageGRIDをインストールする"](#)
- ["UbuntuまたはDebianにStorageGRIDをインストールする"](#)

移行したノードを起動する

移行したノードを検証した後、ターゲット ホスト でコマンドを実行してノードを起動します。

手順

1. 新しいホストでノードを起動します。

```
sudo storagegrid node start DC1-S3
```

2. グリッド マネージャーにSign in、ノードのステータスが緑色でアラートがないことを確認します。



ノードのステータスが緑色であることを確認すると、移行されたノードが完全に再起動され、グリッドに再参加したことが保証されます。ステータスが緑色でない場合は、複数のノードがサービス停止にならないように、追加のノードを移行しないでください。

3. Grid Manager にアクセスできない場合は、10 分待ってから次のコマンドを実行します。

```
sudo storagegrid node status _node-name
```

移行されたノードの実行状態が実行中であることを確認します。

VMware: 仮想マシンを自動再起動するように構成する

VMware vSphere Hypervisor を再起動しても仮想マシンが再起動しない場合は、仮想マシンを自動的に再起動するように構成する必要がある可能性があります。

グリッド ノードをリカバリしているとき、または別のメンテナンス手順を実行しているときに仮想マシンが再起動しないことに気付いた場合は、この手順を実行する必要があります。

手順

1. VMware vSphere Client ツリーで、起動されていない仮想マシンを選択します。
2. 仮想マシンを右クリックし、[パワーオン] を選択します。
3. 将来仮想マシンを自動的に再起動するように VMware vSphere Hypervisor を構成します。

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。